

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成 29年 4月 20 日

計画の名称	1 産業活動を支援し、市民生活の質的向上を図る道路整備		
計画の期間	平成21年度～平成26年度(6年間)	交付団体	北九州市
計画の目標	郊外部や近隣都市との連絡強化により、渋滞ポイントの解消や当該地域における交通混雑の緩和及び、開発拠点への企業誘致や地場産業の振興を図るとともに、安全で快適な地域内移動、近隣交流など、地域の活性化と連携を強化する道路ネットワークの形成を図る。		

計画の成果目標（アウトカム指標）

(主)長行田町線や(都)6号線など要素事業の整備で体系的な道路ネットワークが形成されることにより、主要渋滞ポイントである蒲生交差点及び下曽根駅前交差点の渋滞解消など混雑が緩和され、産業が活発な展開をし、市民生活が向上することが期待される。

アウトカム指標の定義及び算定式		アウトカム指標の現況値及び目標値			備考					
北九州市全域の幹線道路における1kmあたり渋滞損失時間の削減率		当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H26末)						
渋滞損失時間の削減率。北九州市内の幹線道路における1kmあたりの渋滞損失時間を削減する。 (1kmあたり渋滞損失時間の削減率) = {1 - (事業後渋滞損失時間) / (事業前渋滞損失時間)}		67.8千人・時間/年・km	66.8千人・時間/年・km (1.5%)	66.0千人・時間/年・km (2.7%)						
全体事業費(実施)	合計 (A+B+C)	15,266百万円	A	14,235百万円	B	百万円	C	1,031百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.8%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
【実施体制】 北九州市建設局道路部道路計画課が事後評価を実施	平成28年度
【評価値の確認方法】 学識経験者に意見聴取を実施	公表の方法
(九州共立大学経済学部成富教授、九州工業大学工学部寺町准教授)	北九州市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)		進捗状況	備考	
												H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施			
1-A1	道路	一般	北九州市	直接		都道府県道	改築	0.55	(主)長行田町線(蒲生工区)	現道拡幅1.4km	北九州市						426	349	完了	33/39	85%	H25よりP2
1-A2	道路	一般	北九州市	直接		都道府県道	改築	0.55	(主)長行田町線(高野工区)	現道拡幅1.8km	北九州市						254	454	継続			
1-A3	道路	一般	北九州市	直接		都道府県道	改築	0.55	(主)曾根鞆ヶ谷線(熊谷工区)	現道拡幅0.69km	北九州市						230	277	継続			
1-A4	道路	一般	北九州市	直接		都道府県道	改築	0.55	(主)北九州小竹線(景勝工区)	現道拡幅0.4km	北九州市						50	38	完了			
1-A5	道路	一般	北九州市	直接		都道府県道	改築	0.55	(主)直方水巻線(北九州大橋)	バイパス0.8km	北九州市						1355	1,407	完了			
1-A6	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(都)八幡鞍手線(楠橋地区)	バイパス2.27km	北九州市						640	522	継続			
1-A7	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(都)6号線	バイパス7.5km	北九州市						3500	523	継続			
1-A8	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)中原戸畑1号線	バイパス2.1km	北九州市						3700	3,703	継続			
1-A9	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)中貫長野1号線	バイパス2km	北九州市						900	787	継続			
1-A10	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)横代南町山手1号線	バイパス1km	北九州市						200	168	継続			
1-A11	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(1)中貫貫弥生が丘1号線	バイパス1.63km	北九州市						370	63	継続			
1-A12	道路	一般	北九州市	直接		国道	修繕	0.5	(国)国道3号(門司)	低騒音舗装4.9km	北九州市						115	173	完了	H25よりP2		
1-A13	道路	一般	北九州市	直接		国道	修繕	0.5	(国)国道199号(若松～八幡西区)	低騒音舗装13.1km	北九州市						321	257	完了	H25よりP2		
1-A14	道路	一般	北九州市	直接		都道府県道	修繕	0.55	(主)有毛引野線	低騒音舗装4ha	北九州市						72	93	完了			
1-A15	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	修繕	0.55	(他)砂津上富野1号線	低騒音舗装1.5ha	北九州市						29	26	完了			
1-A16	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)田原4号線外	生活道路整備0.4km	北九州市						150	0	-			
1-A17	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)長野108号線外	生活道路整備0.1km	北九州市						50	0	継続			
1-A18	道路	一般	北九州市	直接		国道	交安	0.55	(国)国道322号外	乗継施設整備(駐輪場、タラベイ、バグ) 27箇所	北九州市						71	3	完了			
1-A19	道路	一般	北九州市	直接		都道府県道	交安	0.55	(主)八幡戸畑線外	乗継施設整備(駐輪場、タラベイ、バグ) 14箇所	北九州市						40	5	完了			
1-A20	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	交安	0.55	(他)三ヶ森16号線外	乗継施設整備(駐輪場、タラベイ、バグ) 3箇所	北九州市						20	2	完了			
1-A21	道路	一般	北九州市	直接		国道	改築	0.55	(国)国道3号砂津拡幅	現道拡幅0.5km	北九州市						30	15	完了			
1-A22	道路	一般	北九州市	直接		国道	改築	0.55	(国)国道495号竹並バイパス	バイパス1.7km	北九州市						568	424	継続	H25よりP2		
1-A23	道路	一般	北九州市	直接		国道	改築	0.55	(国)国道211号第1工区	現道拡幅1.7km	北九州市						650	509	継続	H25よりP2		
1-A24	道路	一般	北九州市	直接		国道	改築	0.55	(国)国道199号砂津バイパス	バイパス0.5km	北九州市						2183	2,339	継続	H25よりP2		
1-A25	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)浅野34号線	バイパス0.5km	北九州市						278	249	完了			
1-A26	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)高尾37号線外	バイパス1.2km	北九州市						380	0	継続			
1-A27	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)鴨生田57号線	現道拡幅0.05km	北九州市						120	78	完了			
1-A28	道路	一般	北九州市	直接		国道	交安	0.55	(国)国道199号(戸畑区)	道路標識設置 20箇所	北九州市						32	3	継続			
1-A29	道路	一般	北九州市	直接		国道	改築	0.55	(国)国道211号第2工区	現道拡幅1.2km	北九州市						600	61	継続	H25よりP2		
1-A30	道路	一般	北九州市	直接		市町村道	改築	0.55	(2)払川塩屋1号線	バイパス0.1km	北九州市						560	291	完了			



B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)		備考
											H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施	
1-B1	公園	一般	北九州市	直接			0.5	田原二丁目公園外6件	公園施設整備7箇所	北九州市				.....			120	0	
											合計						120	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			
1-B1	すべての道路改築事業と一体となって、地域コミュニティの拠点施設を中心に、道路・公園などの公共事業を一体的・面的に整備することで、地域コミュニティ活動への利便性を向上する。																		
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費(百万円)		備考
											H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施	
1-C1	公共PR	一般	北九州市	直接			0.55	事業評価	アウトカム資料の作成 市中長期計画事前事後評価資料作成	北九州市				.....			20	0	H24・地域自主
1-C2	公共PR	一般	北九州市	直接			0.55	公共事業PR	公表事業PR資料作成 公共事業の進め方市民説明資料作成	北九州市				.....			15	0	H24・地域自主
1-C3	景観整備	一般	北九州市	直接			0.55	おもてなし道路景観検討	門司行橋線外50km 植栽帯見直し検討 特色ある道路付属物検討	北九州市							40	31	
1-C4	景観整備	一般	北九州市	直接			0.55	案内板・サイン整備検討業務	黒崎地区・若松地区 サイン調査・検討	北九州市							20	26	
1-C5	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	公共交通ICカード導入検討	ICカード導入検討 (筑豊電気鉄道・モノレール)	北九州市				.....			5	1	H24・地域自主
1-C6	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	モビリティマネジメント・総合公共交通マップ作成	市内全域	北九州市				.....			13	57	H24・地域自主
1-C7	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	コミュニティバス購入(増車)	小倉北区2台	北九州市				.....			25	13	H24・地域自主
1-C8	計画・調査	一般	北九州市	直接			0.55	自転車通行関連調査検討	市内全域	北九州市							9	11	
1-C9	計画・調査	一般	北九州市	直接			0.55	タクシー関連調査検討	市内全域	北九州市							1	2	
1-C10	計画・調査	一般	北九州市	直接			0.55	モノレール長寿命化計画策定調査	小倉都心部～企救丘	北九州市							170	108	
1-C11	社会実験	一般	北九州市	直接			0.55	社会実験(バスロケーションシステム)	黒崎地区	北九州市							10	0	
1-C12	社会実験	一般	北九州市	直接			0.55	社会実験(乗り合い送迎バス)	響灘地区	北九州市							10	0	
1-C13	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	若戸渡船購入	渡船1隻	北九州市							130	130	
1-C14	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	市営バス購入	市内全域	北九州市				.....			530	424	H24・地域自主
1-C15	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	平成22年度交通量調査	市内全域	北九州市							40	0	
1-C16	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	社会実験(都市高速物流等活性化)	市内全域	北九州市				.....			24	48	H24・地域自主
1-C17	公共交通	一般	北九州市	間接	バス事業者		0.55	バス停整備(助成金)	市内全域	北九州市				.....			148	13	H24・地域自主
1-C18	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	自転車共同利用支援事業	小倉都心部	北九州市				.....			238	127	H24・地域自主
1-C19	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	BRT導入	小倉都心部～黒崎副都心部	北九州市							12	4	
1-C20	公共交通	一般	北九州市	直接			0.55	筑鉄穴生駅EV設置	EV2基	北九州市							70	38	
											合計						1,530	1,031	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1	本交付金を含む道路事業について、事業評価を行うことで、市民への公共事業に対する理解の増進を図り、すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）の促進に、市民の協力を得られるよう進めていく。	
1-C2	近年の公共事業に対する社会情勢を考慮し、本計画期間で重点的に公共事業のPRを行うことにより、市民への公共事業に対する理解の増進を図り、すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）の促進に、市民の協力を得られるよう進めていく。	
1-C3	すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、都市景観を改善することで、「都市イメージの向上や街の賑わいづくり」とともに、「来訪者へのおもてなし」や「市民の街への愛着や誇りの醸成」などを図り、快適な道づくりを進めていく。	
1-C4	すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、交通拠点地区のサイン整備を計画し、目的地へのスムーズな誘導を行うことで、自動車や歩行者の快適性を確保し、無駄な混雑を解消する。	
1-C5	公共交通の乗り継ぎ利便性の向上を図るため、ICカード乗車券の導入検討を行い、すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、地球環境にやさしい公共交通機関や自転車などへの利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C6	過度なマイカー利用かた公共交通利用へと利用転換を促すモビリティマネジメントを実施する際に、総合公共交通マップを作成し公共交通乗り場のわかりやすい情報を提供することで、すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、地球環境にやさしい公共交通機関や自転車などへの利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C7	すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、公共交通空白地域等の地域の交通手段の確保を図ることで地球環境にやさしい公共交通機関への利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C8	自転車ネットワーク計画や自転車駐輪場計画の見直しを行い、快適な自転車走行環境の改善を図り、すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、地球環境にやさしい公共交通機関や自転車などへの利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C9	都心部・副都心部におけるタクシーの違法駐車車の現況調査を行い、タクシー乗り場整備予定箇所を決定し、今後整備していくことで、タクシーによる渋滞を解消し、すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、地球環境にやさしい公共交通機関や自転車などへの利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C10	北九州モブールの長寿命化計画を策定し、地球環境にやさしい公共交通機関を良好な状態で維持し、道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、将来に亘り、安全で快適な移動手段を確保する。	
1-C11	すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、交通施設の利便性を高めることで地球環境にやさしい公共交通機関への利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C12	臨海部の工場地帯における過度なマイカー通勤を最寄の駅から乗り合い送迎バスの社会実験を行い、公共交通通勤への利用転換を促すことで、すべての道路改築事業（1-A1～1-A11）と一体となって、地球環境にやさしい公共交通機関や自転車などへの利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C13	北九州市の若松区と戸畑区は、現在若戸大橋で結ばれており、今後新若戸道路の整備により、より物流等の強化が図られるようになる。しかし、両路線とも自動車専用道路であり、歩行者については、若戸渡船を利用する必要がある。バリアフリー化した渡船を購入し、物流等の強化にあわせ歩行者の利便性の向上を図る。	
1-C14	バリアフリー化されたバスを購入し、市営バスの支弁性の向上を図ることで、公共利用を促進し、渋滞緩和につなげていくもの。	
1-C15	北九州市内の交通量調査を実施し、交付金で実施している道路事業や今後整備していく道路事業などの必要性などの検証に活用していくもの。	
1-C16	都市高速道路利用を促進し、道路改築事業と一体となって一般道の渋滞緩和につなげていくもの。	
1-C17	すべての道路改築事業（1-A1～1-A35）と一体となって、交通施設の利便性を高めることで地球環境にやさしい公共交通機関への利用転換を図り、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C18	自転車を共同利用する環境を充実させることで地球環境にやさしい自転車や公共交通機関への利用転換を図り、すべての道路改築事業（1-A1～1-A35）と一体となって、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C19	幹線バス路線の強化を行うため、市内主要幹線である八幡西区黒崎～小倉北区砂津間の路線を検討の対象とし、「バス路線再編」を視野に、民間事業者と協働で、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	
1-C20	交通施設の利便性を高めることで地球環境にやさしい公共交通機関への利用転換を図り、すべての道路改築事業（1-A1～1-A35）と一体となって、多様な移動手段が安全・安心に利用できる「環境首都としてふさわしい交通体系」の実現を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

**2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況**

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

「長行田町線（蒲生工区）」の現道拡幅整備により、当該路線及び周辺路線の走行性が向上し、渋滞損失時間が削減されるとともに、並行路線に存在する主要渋滞箇所（蒲生交差点）の渋滞が解消され主要渋滞箇所から除外されている。  
また、新若戸道路アクセス路の機能を担う「中原戸畑1号線」バイパス整備は、物流施設が集積する日明地域関連の交通を多く担う国道199号の渋滞損失時間を削減、北九州学術・研究都市北部土地区画整理事業と一体となった「弘川塩屋1号線」のバイパス整備は、学研都市周辺道路の渋滞損失時間を削減するなどこれらの道路整備により、産業の活発な展開や市民生活の向上が図られている。

II 定量的指標の達成状況	指標①（渋滞損失時間の削減率）	最終目標値	66.0千人・時間/年・km (2.7%削減)	目標値と実績値に差が出た要因	(主) 長行田町線（蒲生工区）や（国）3号砂津拡幅等の渋滞損失時間削減が見込まれる路線の事業進捗により、目標値以上の効果が発現した。
		最終実績値	64.2千人・時間/年・km (5.7%削減)		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値		目標値と実績値に差が出た要因	

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

「一般国道3号（砂津拡幅）道路改築事業」に隣接する区間には、多くのバスが発着する「砂津バスセンター」（市内路線バスや市外高速バス等、多くのバス系統の起終点）が存在し、多くのバスが走行している。当該事業で、道路の拡幅と共に、「バスカット設置」を行ったことにより、一般国道3号におけるバスの走行性向上や利便性向上が図られている。  
また、当該事業の近隣には「中学校等の文教施設や民間商業施設」が立地しており、歩行者利用が多い箇所である。当該事業で「4.0mの有効幅員を確保した歩道を両側に設置」したことにより、歩道利用者の安全性確保が図られている。

**3. 特記事項（今後の方針等）**

本市の道路を取り巻く状況としては、①道路整備による渋滞箇所の解消が見られるが、依然として多くの渋滞箇所が存在している、②産業競争力の強化や新たな企業誘致を促進するため、物流ネットワークの形成を図る必要があるなどの課題がある。  
今後も、これらの課題解決に取り組むため、次期整備計画において、事業継続中の（国）国道199号砂津バイパス、（都）6号線（恒見朽網線）等の道路整備を推進し、郊外部や近隣都市との連絡機能強化、渋滞箇所の解消や交通混雑緩和及び企業誘致や地場産業の振興に寄与する道路ネットワークの形成を図っていきたい。

# 社会資本総合整備計画 参考図面

